

1 今年度の冬休みについて

- 冬休みは、12月26日(火)～1月8日(月)になります。
- 計画的に学習をすすめるようにしましょう。
- 図書貸し出し…冬休み中の本の貸し出しは行いません。
- 「わくわく岩淵ひろば」については、「わくわく岩淵ひろば」からのお便りをご覧ください。
- 校庭開放…1月8日(月) 10:00～12:00、13:30～16:00



2 病気を予防し健康にすごしましょう

- 規則正しい生活をしましょう。
- 夜更かし、朝寝坊、朝食抜きなどが習慣になってしまうと、なかなか元の生活リズムに戻せなくなってしまいます。なるべくリズムを崩さないようにしましょう。
- 新型コロナウイルス感染症の流行で身に付けた、良い習慣を続けましょう。
- 「手洗い・うがい」「部屋は換気をする」ことは、他の病気の予防にもなります。
- インフルエンザ、感染性胃腸炎などが流行しています。体調に気を配り、具合の良くない時には早めに休息をとりましょう。

3 学習やお手伝いを進んでみましょう

- 冬休みの宿題や、自分で興味のある課題に計画を立てて取り組みましょう。
- 本をたくさん読みましょう。
- 家のお手伝いを、進んでみましょう。
- 自分から先に元気なあいさつをしましょう。
- お正月ならではの行事(新年のあいさつ、凧あげ、書き初めなど)や食事(おせち料理、お雑煮、など)について調べたり体験したりしましょう。



4 安全に生活しましょう

- 交通安全
- 交通安全ルールをしっかりと守りましょう。
- 見通しの悪い交差点、曲がり角などでは一時停止しましょう。
- 自転車に乗る時は、ヘルメットをかぶりましょう。
- 自転車の二人乗り、スピードの出し過ぎ、道に広がって乗ることはしません。
- 大通りを渡るときは、横断歩道を渡りましょう。
- キックボードやスケートボード等は道路で乗りません。
- 遊びの約束
- 公園での遊び方に、気をつけましょう。
- 自転車を決められた場所にきれいに並べましょう。
- ルールを守り、遊んだ後は片付けをしましょう。
- 子供だけでゲームセンターに行ったり、お金を持って出かけたりしないようにしましょう。
- 「だれと」「どこへ」「何をしに」「いつ帰るか」をしっかりと家の人に言うてから出かけましょう。
- 午前10時までは、友達を呼びに行きません。
- 家の人が留守の時は、子供だけで友達の家にあがって遊びません。
- 危険な遊び(火遊び・エアガンなど)はやめましょう。
- 危険な場所(川や工事現場、人通りの少ない道など)には行かないようにしましょう。
- お年玉の使い道は家族と相談して考えましょう。
- 「おごったり、おごられたり」はしてはいけません。
- 学習用PC・スマホ・ゲーム機を使うとき
- 岩小SNSルール(裏面にあります)をもとに、家の人とルールを決めて、使い方に十分気を付けましょう。
- (例: 利用は一日60分まで / 夜は8時になった居間に置く など)
- 不審な人に会ったとき
- 変だな、こわいな、と思ったら、すぐに走って逃げましょう。近くのおとなやお店の人に助けを求めましょう。そして、直ちにご家庭から警察へ110番通報してください。
- 個人情報(聞き出す)と不審電話がかかってきたら、すぐに切るか家の人にかわってもらいましょう。

5 保護者の皆様へ

- (1) 1月9日(火)の予定
- 1月9日(火)は通常通り登校・給食あり。(上履き持参)
- 1～4年は4時間授業、5・6年生は5時間授業(5校時委員会)
- (2) もしものときの緊急連絡先
- 不審な人に会った場合や事故のとき
- すぐ110番 または 赤羽警察署 03-3903-0110
- 岩淵小学校の連絡先
- 副校長 03-3901-2950
- (3) 学校閉庁日
- 12月27日(水)～1月4日(木)
- ・この期間中、学校への連絡はできません。ご了承ください。
- ・1月5日(金)以降にご連絡くださるようお願いいたします。



6 「きたコン」(学習用PC)の取扱い

- (1) 家庭での約束事について
- SNS東京ルール、岩小SNSルールを参考に、「きたコン」を使う時間、「きたコン」を片付ける時刻、「きたコン」を置いておく場所などを話し合ってください。
- (2) 「きたコン」の取扱いについて
- 破損や故障を防ぐため、床など人が通った時に踏んでしまうような場所、ソファや椅子など人が座った時に踏んでしまうような場所、台所など、水まわりには置かないでください。
- 「きたコン」の利用可能範囲は、日本国内のみです。旅行や帰省等で海外へ渡航される際には、「きたコン」を持参しないようお願いいたします。

7 「自分を大切にしよう」

- つらいとき、こまったとき、不安になったときは、家族、地域の方、担任の先生、養護の先生、スクールカウンセラーなど、身近にいる信頼できる大人に話しましょう。